

令和7年も “いいムラをつくろう”



新年明けましておめでとうございます。すがすがしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島で地震が発生し、年明け早々多難な幕開けとなりました。その後も、豪雨災害や連日の猛暑など、気候変動の影響を強く感じた一年だったと思います。私たちの身の回りでは、物価高騰や犯罪被害の増加など、生活に直結する課題も顕在化しており、暮らしと安全を守る対策の必要性が増していると感じているところです。

昨年の村のトピックスとしては、「グルービー縦の木公園」の開園を挙げたいと思います。芝生広場や大きな滑り台、バスケットボールコートなどを備えた家族で遊べる公園として昨年4月に開園して以来、大きなイベントを開催するなど、多くの来場者でにぎわっております。一方で、駐車場不足が課題となっていたことから、現在は、新たな駐車場を整備しているところです。今後とも、皆さまに楽しんでもらえる公園を目指して、機能充実を図っていききたいと考えております。本年

今月の表紙



村発足70周年記念事業「ファニーずと未来の東海村を描こう」での一コマ。

“30年後はどんな東海村になっているかな？”をテーマに、思い思いの未来を描きました。

は、「新たな総合計画」村発足70周年記念事業「わかものまちなみサミット」などを重点的に推進していきますので、ご期待ください（詳細は左ページ）。

原子力政策につきましては、東海第二発電所において、事業者による安全性向上対策工事が進められています。昨年、工事の施工不良が発生したことに伴い、原子力規制庁との協議が続けられています。施設の安全性に関わる問題ですので、事業者には、しっかりと対応していただきたいと思います。村としても、今後の動向を注視してまいります。

また、「原子力災害に備えた東海村住民避難計画」は、地域ごとの内容をまとめたパンフレットを作成し、昨年12月に各世帯へ配布しました。本村は、発災事業所ごとに避難時の初動が異なるという特徴があることから、いざという時に適切な避難行動が取れるよう、周知徹底に努めてまいります。

結びに、本年が皆さまにとって良き年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

東海村長 山田 修

「新たな総合計画」のスタート

令和7年度から、東海村第6次総合計画に代わる「新たな計画」が始まります。「新たな計画」は、主に民間企業などで取り入れられている「ミッション・ビジョン・バリュー」という考え方に基づき、機動性と柔軟性のある計画としています。施策の重点化を図るために掲げた4つのテーマを、今後5年間にわたる政策運営の4本柱として積極的に事業を推進し、村民の「幸福度の向上」を目指します。

4つのテーマ

1. 人口減少対策
2. 新たな基盤整備
3. DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
4. 安全・安心の確保

ミッション MISSION	ビジョン VISION	バリュー VALUE
村が果たすべき使命・目的	村が実現したい未来・将来像、中期的目標	村に関わる全ての人に大切にしたい考え方、行動指針
		

村が実現したい目標や方向性などを分かりやすく表現した経営方針。

変化の著しい現代においても目標を見失うことなく、村民の皆さんと対話しながら、スピード感をもって効果的な施策を実施することで、「いいムラ」づくりに努めていきます。

「村発足70周年記念事業」を展開

今年3月31日(月)に、村は発足70周年を迎えます。周辺自治体が合併を進めてきた中、村は自立した行政運営に努めてきました。先人たちが築いてきた東海村の歴史を振り返るとともに、「未来の東海村」を展望できるような記念事業を実施していきます。

昨年は、村内の小中学生から村発足70周年記念ロゴマークのアイデアを募集したところ、338作品もの応募をいただきました。一般の方々からのWEB投票を行い、すてきなデザインに決まりました。これまで、村発足70周年の周知や啓発活動に取り組んできましたが、いよいよ本番を迎えます。多くの村民の皆さんに楽しんでもらい、思い出に残る事業を展開していきますので、ご期待ください。



“3月31日(月)、東海村は70歳になります”

祭りや各種イベントの拡充、記念式典での村民表彰、記念コンサートなど、さまざまな記念事業を展開していきます。のぼり旗や横断幕の設置、ラッピング路線バスの運行なども順次行っています。村発足70周年記念事業を共に盛り上げていきましょう。

「わかものまちサミット」を開催

昨年11月、石川県金沢市で開催された「わかものまちサミット2024」。

参加の場としての若者の居場所」というテーマの下、若者が主体となつて、多様な参加者が熱心に議論している姿から、大変多くの学びを得ることができました。

今年11月には、「わかものまちサミット」を本村で開催することが決定しており、全国各地さまざまな活動を展開している団体等が一堂に会します。ここ東海村で議論できることは、村のこれからの「こども・わかもの政策」に大きなヒントを与えてくれるのではないかと期待しているところです。多くの方々に関心を持って参加していただけるサミットになるよう、準備を進めていきます。

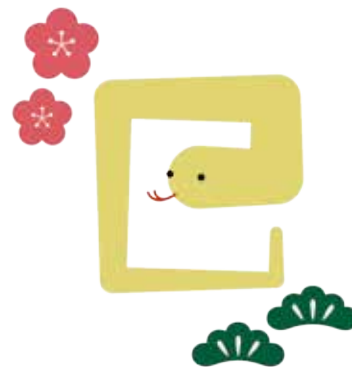


“若者も主役となるまちづくり”

若い世代の“やってみたい”を実現する「高校生まちづくりスクール」、高校生・大学生が集い、住み続けたいまちについて“ゆるく”対話する「わかもの会議」、高校生が地域の魅力を発信する授業など、村をフィールドに若者が活動・活躍する機会を創出していきます。

脱皮を繰り返しながら成長するヘビのイメージから、“復活と再生”や“生命力”が連想される巳年。「巳」を「実」にかけて“実を結ぶ年”になるともいわれているようです。

そこで今月号では、「広報とうかい」(令和6年11月10日号)で公募した巳年生まれの皆さんに、①新年の抱負、②今年挑戦したいこと、③東海村の好きなところを聞いてみました。



中村 拓哉 さん 平成元年生まれ/36歳
(1989)

《新年の抱負》

車のコーティング技術2級の資格を生かし、車の状態やお客さんのニーズに合わせたベストな施工をする。

《今年挑戦したいこと》

車のコーティングの個人営業を始めたい。

《東海村の好きなところ》

全部。特に、住みやすいところ。



細浦 芹菜 さん 平成13年生まれ/24歳
(2001)

《新年の抱負》

昨年は周りに支えられた1年だったため、今年は恩返しをしたい。

《今年挑戦したいこと》

母が作るポトフが大好き。母を目標に料理を頑張りたい。

《東海村の好きなところ》

優しい人がたくさんいるところ。

田口 章 さん 昭和16年生まれ/84歳
(1941)

《新年の抱負》

健康第一！妻と2人で96歳を目指すため、ウォーキングを続ける。

《今年挑戦したいこと》

新しく何かに挑戦するのではなく、健康づくりに励み続けたい。

《東海村の好きなところ》

道がきれいで歩きやすいところ。



巳年生まれに聞く！

田口 ユキ さん 昭和16年生まれ/84歳
(1941)

《新年の抱負》

夫と2人で96歳を目指すため、無理なく健康づくりを続ける。

《今年挑戦したいこと》

30年続けたパッチワーク。ポーチなどの作品を売ってみたい。

《東海村の好きなところ》

福祉サービスが手厚いところ。



山田 琉輝空 さん 平成25年生まれ/12歳
(2013)

《新年の抱負》

小学3年生から始めた空手。黒帯への昇段を目指す。

《今年挑戦したいこと》

パイロットになるという夢に近づくために、英語を頑張りたい。

《東海村の好きなところ》

自然が多く、食べ物がおいしいところ。



富永 寧 さん 昭和52年生まれ/48歳
(1977)

《新年の抱負》

美容室開店20周年。感謝を込めて地域やお客さんに貢献したい。

《今年挑戦したいこと》

趣味のダンス。3月の発表会に向けてさらに上を目指したい。

《東海村の好きなところ》

交通の便が良いところ。



30th

「東海村発足
30周年記念式典」
開催

村の花「スカシユリ」制定
「東海村民憲章」制定
村立図書館が開館
昭和60(1985)年



つくば万博で
「東海村の日」を
開催。



東海村発足
70周年

東海村が誕生してから70年。
令和7年7月5日(土)・6日
(日)には、村発足70周年記念
式典の開催を予定しています。
令和7(2025)年3月31日(月)

東海スイミング
プラザがオープン
昭和59(1984)年



東海村民会館を
東海文化センターと改称
昭和62(1987)年



ブルービー縦の木公園
がオープン
令和6(2024)年



歴史と未来の交流館が
開館
令和3(2021)年

新型コロナウイルス感染
拡大。緊急事態宣言が出さ
れる。
令和2(2020)年

第1回
「東海さくらまつり」開催

平成元(1989)年



40th

「東海村発足
40周年記念式典」
開催

村の鳥「メジロ」制定
平成7(1995)年



「東海十二景」制定
平成3(1991)年

第74回国体「いきいき
茨城ゆめ国体」開催

東海村がホッケー会場と
なる。
令和元(2019)年



保健センター内に子
育て世代包括支援セ
ンター「はぐ♥くみ」
がオープン
平成29(2017)年



50th

「東海村発足
50周年記念式典」
開催

イモゾー誕生
平成17(2005)年



総合福祉センター「絆」が
オープン
平成16(2004)年



新村立東海病院が開院
平成18(2006)年



東海ファーマーズ
マーケット「にじの
なか」、農業支援セン
ターがオープン
平成21(2009)年



60th

第1回
「大空マルシェ」
開催

イモゾーファミリーの
キャラクターが決定
平成25(2013)年



村の人口が
3万7,000人を
超える
(3万7,438人)
平成22(2010)年

東日本大震災
平成23(2011)年
3月11日

村の人口が
3万5,000人を超える
(3万5,136人)
平成15(2003)年

県道日立東海線・
留大橋が開通。



※歴史と未来の交流館では、常設展示で村の歴史を詳
しく紹介しています。皆さんぜひお越しください。



歴史と未来の
交流館の詳細
はこちら



東海村70周年の歩み

～東海村の誕生からこれまでの歴史を振り返る～



▲東海村発足70周年
記念特設ページ

START

「東海村」が誕生

村松村と石神村が合併し、東海村に。村の人口は1万1,583人。

昭和30(1955)年3月31日

- 幕末の思想家、藤田東湖の「正気歌」中の「卓立す東海の浜」にちなんで東海村と名付けられたといわれている(諸説あり)。

石神駅を東海駅、石神郵便局を東海郵便局と改称

昭和32(1957)年



昭和35年ごろの東海駅

原研・東海研究所の研究用原子炉(JRR-1)が臨界。日本で最初の原子の火がともる。

昭和32(1957)年

公募により村章決定

昭和38(1963)年



10th

昭和40(1965)年

第29回国体「水と緑のまごころ国体」開催

東海村がホッケー会場となる。昭和49(1974)年



米国

アイダホフォールズ市と国際親善姉妹都市の調印

昭和56(1981)年

「東海音頭」発表、都はるみさんの歌でレコードに。

村の木「黒松」制定

昭和55(1980)年



第1回「東海まつり」開催



昭和54(1979)年

東海村民会館(現在の東海文化センター)が開館

昭和52(1977)年

20th

昭和50(1975)年

総合体育館が開館



村の人口が3万人を超える(3万64人)

昭和57(1982)年



第1回「東海」～MOのまつり開催

平成7(1995)年

役場新庁舎(現在の役場庁舎)が完成



平成9(1997)年

姉妹都市交流会館がオープン



平成13(2001)年

「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」開催

東海村がホッケー会場となる。

平成14(2002)年

